



貧困と平和

全世界で極度の貧困の中で暮らす人の数は、1990年の19億人から2015年の8億3600万人へと半分以下に減少したが、未だに多くの人が人間の基本的ニーズを満たせないでい



る。全世界で8億人以上が今でも、1日1ドル25セント未満で暮らし、十分な食料やきれいな飲み水、衛生施設を利用できない人々が多い。

ここでは、カンボジアの支援活動を紹介する。

世界の中でも貧困率が高いカンボジアでは、自立支援施設を建設している。また、安定した衣食住の供給や教育・訓練機会、職業訓練や収入創出活動を実施したり、学校や井戸の建設、衣類支援や物資支援事業などを行ったりしている。

世界中の子どもたちのために私たちができることは、無理のない範囲で寄付をすることだ。たった1杯のコーヒー代100円を募金に回すだけでも、貧しい国の子どもを守るためのワクチンや経口補水塩の購入費の一部になる。

参考文献：国連開発計画（UNDP） 駐日代表事務所
gooddo マガジン